

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成27年8月10日

【四半期会計期間】 第49期第1四半期(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

【会社名】 株式会社ショーエイコーポレーション

【英訳名】 SHOEI CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 芝原 英司

【本店の所在の場所】 大阪府中央区備後町二丁目1番1号

【電話番号】 06-6233-2636 (代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役 有村 芳文

【最寄りの連絡場所】 大阪府中央区備後町二丁目1番1号

【電話番号】 06-6233-2636 (代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役 有村 芳文

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第48期 第1四半期 連結累計期間	第49期 第1四半期 連結累計期間	第48期
	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高 (千円)	3,402,065	3,467,797	14,392,046
経常損失( ) (千円)	65,162	4,892	13,078
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失( ) (千円)	56,918	8,329	30,837
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	29,329	4,735	84,200
純資産額 (千円)	1,723,959	1,615,992	1,669,087
総資産額 (千円)	7,452,207	6,918,443	7,614,792
1株当たり 四半期(当期)純損失金額( ) (円)	8.83	1.29	4.78
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	23.1	23.4	21.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純損失」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失」としております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高傾向が続き、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調にあるものの、一方で個人消費については、円安進行による物価の上昇の影響など力強さに欠ける状況であります。海外では、米国経済が堅調に推移しているものの、中国及び新興国経済の成長鈍化や欧州の財政不安など、依然として先行きの不透明な状況となりました。

当社グループを取り巻く環境は、長らく続く円安の影響による輸入製品価格の上昇や、消費マインドの冷え込みが続くなど、厳しい事業環境が続いております。

このような中、当社グループは一体となって売上拡大と効率化をより一層推し進め、企業価値の創造と向上を図りつつ、当社及び子会社それぞれの経営資源や特性を活かし、採算性を重視した受注体制及び強固な管理体制の構築に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,467百万円（前年同期比1.9%増）となりましたが利益面につきましては、円安の進行による仕入単価の上昇の影響があったことから営業損失は17百万円（前年同期は53百万円の営業損失）、経常損失は4百万円（前年同期は65百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8百万円（前年同期は56百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （パッケージ事業）

当セグメントにおきましては、グループ一体化、組織営業の推進により、新規・休眠顧客の掘り起こしに注力し、それに加え提案型営業を展開する付加価値サービスの提供も進めてまいりました。その結果、売上高は1,990百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益（営業利益）は89百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

#### （メディアネットワーク事業）

当セグメントにおきましては、配送費の低減や納期短縮等の提案を行う一気通貫サービスに注力しつつ、中小口、地方中心に新案件獲得に努めてまいりました。その結果、売上高は719百万円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益（営業利益）は13百万円（前年同期比42.6%増）となりました。

#### （日用雑貨品事業）

当セグメントにおきましては、商品開発力を高めるべく海外協力メーカーとのルートづくりを進めたものの、円安の進行による仕入コストの高騰など厳しい状況が続きました。その結果、売上高は803百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント損失（営業損失）は11百万円（前年同期は29百万円のセグメント損失（営業損失））となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は6,918百万円となり、前連結会計年度末に比べ696百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金等が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は5,302百万円となり、前連結会計年度末に比べ643百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金や借入金等が減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少しました。これは主に配当金の支払い等による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成27年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,850,000	6,850,000	東京証券取引所 JASDAQ (グロース)	単元株式数は100株であります。
計	6,850,000	6,850,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年4月1日～ 平成27年6月30日		6,850,000		229,400		146,800

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

(平成27年6月30日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 402,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,447,700	64,477	
単元未満株式	普通株式 300		
発行済株式総数	6,850,000		
総株主の議決権		64,477	

## 【自己株式等】

(平成27年6月30日現在)

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ショーエイ コーポレーション	大阪市中央区備後町 二丁目1番1号	402,000		402,000	5.86
計		402,000		402,000	5.86

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年 3月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成27年 6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	585,868	398,730
受取手形及び売掛金	1 2,584,811	1 2,272,937
商品及び製品	1,294,670	1,173,740
仕掛品	106,314	100,901
原材料	136,224	98,785
未収還付法人税等	5,016	5,016
その他	329,569	283,237
貸倒引当金	10,409	2,745
<b>流動資産合計</b>	<b>5,032,065</b>	<b>4,330,603</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
土地	1,125,712	1,125,712
その他(純額)	784,453	789,829
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,910,165</b>	<b>1,915,542</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	89,394	80,455
その他	24,784	23,257
<b>無形固定資産合計</b>	<b>114,178</b>	<b>103,712</b>
<b>投資その他の資産</b>		
その他	593,789	603,934
貸倒引当金	36,004	35,856
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>557,785</b>	<b>568,078</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,582,129</b>	<b>2,587,332</b>
<b>繰延資産</b>	<b>596</b>	<b>508</b>
<b>資産合計</b>	<b>7,614,792</b>	<b>6,918,443</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,875,416	1,675,747
短期借入金	1,850,000	1,600,000
1年内償還予定の社債	124,720	109,720
1年内返済予定の長期借入金	447,272	441,452
未払法人税等	26,534	2,566
未払消費税等	70,912	48,297
賞与引当金	76,318	46,177
その他	245,519	295,080
<b>流動負債合計</b>	<b>4,716,693</b>	<b>4,219,041</b>
<b>固定負債</b>		
社債	122,600	104,640
長期借入金	756,932	649,434
退職給付に係る負債	60,596	63,064
長期未払金	146,052	146,052
その他	142,831	120,219
<b>固定負債合計</b>	<b>1,229,011</b>	<b>1,083,410</b>
<b>負債合計</b>	<b>5,945,704</b>	<b>5,302,451</b>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	229,400	229,400
資本剰余金	146,800	146,800
利益剰余金	1,306,918	1,250,228
自己株式	71,556	71,556
株主資本合計	1,611,562	1,554,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,937	73,488
繰延ヘッジ損益	97	-
為替換算調整勘定	10,314	12,368
その他の包括利益累計額合計	57,525	61,119
純資産合計	1,669,087	1,615,992
負債純資産合計	7,614,792	6,918,443

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,402,065	3,467,797
売上原価	2,847,861	2,925,859
売上総利益	554,203	541,937
販売費及び一般管理費	607,516	559,829
営業損失( )	53,312	17,892
営業外収益		
受取利息	165	122
受取配当金	2,020	1,531
為替差益	-	18,448
その他	1,697	6,697
営業外収益合計	3,883	26,800
営業外費用		
支払利息	10,259	9,327
その他	5,473	4,472
営業外費用合計	15,733	13,800
経常損失( )	65,162	4,892
特別損失		
固定資産除却損	149	956
特別損失合計	149	956
税金等調整前四半期純損失( )	65,312	5,848
法人税、住民税及び事業税	827	1,877
法人税等調整額	9,220	603
法人税等合計	8,393	2,481
四半期純損失( )	56,918	8,329
親会社株主に帰属する四半期純損失( )	56,918	8,329

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失( )	56,918	8,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,836	5,551
繰延ヘッジ損益	279	97
為替換算調整勘定	2,967	2,054
その他の包括利益合計	27,589	3,594
四半期包括利益	29,329	4,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,329	4,735

【注記事項】

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

## 1 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
受取手形割引高	千円	48,899千円
受取手形裏書譲渡高	1,110千円	3,691千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
減価償却費	28,828千円	28,166千円
のれん償却額	12,957千円	8,939千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月26日 定時株主総会	普通株式	48,360	7.50	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月25日 定時株主総会	普通株式	48,360	7.50	平成27年3月31日	平成27年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	パッケージ事業	メディアネット ワーク事業	日用雑貨品事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,967,640	667,555	766,869	3,402,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	97,333		11,794	109,128
計	2,064,974	667,555	778,664	3,511,194
セグメント利益又は損失( )	82,022	9,584	29,385	62,220

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	62,220
セグメント間取引消去	1,413
全社費用(注)	114,118
四半期連結損益計算書の営業損失( )	53,312

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	パッケージ事業	メディアネット ワーク事業	日用雑貨品事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,945,247	719,771	802,777	3,467,797
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,608		949	46,557
計	1,990,855	719,771	803,726	3,514,354
セグメント利益又は損失( )	89,871	13,662	11,888	91,645

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	91,645
セグメント間取引消去	2,439
全社費用(注)	111,977
四半期連結損益計算書の営業損失( )	17,892

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )	8円83銭	1円29銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 四半期純損失金額( )(千円)	56,918	8,329
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失金額( )(千円)	56,918	8,329
普通株式の期中平均株式数(株)	6,448,000	6,448,000

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 8月 7日

株式会社ショーエイコーポレーション  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐藤 陽子 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 遠藤 尚秀 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ショーエイコーポレーションの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ショーエイコーポレーション及び連結子会社の平成27年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。